

社会福祉法人あすみ福祉会

(茶々保育園グループ)

お知らせ



いつもお世話になっている皆様

このたび、迫田圭子が理事長を退任し、理事に就任いたしました。そして、後任には迫田健太郎が理事長に就任いたします。まずは略儀ながら書中をもちましてご挨拶を申し上げます。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

平成25年4月吉日
社会福祉法人あすみ福祉会

【追伸】 橋の木台保育園(横浜市青葉区)
リニューアルオープンいたしました。
平成25年6月22日(土)に
「みんなとみんなのかきさきだい」開催予定。

ワタシ、 保育士の「圭子さん」になります

ワタシ、今年の5月には70歳になります。保育科を卒業以来、幼稚園、リトミック教室、保育園、大学と43年間、子どもに直接・間接に関わる場に身を置くことができました。そして、それぞれの場では想定外の学びと喜びを頂きました。中でも、人を愛することに自分の幸せを見出そうとするあすみ福祉会のスタッフの姿に触れた時、眩しいほどの感動を頂きました。だから、ワタシの残された人生の目標が見えてきたのです。あすみ福祉会のスタッフに寄り添い、愛し愛されながらお互いのHappyを求めていこう、と。

今年3月末で立正大学のお許しを得て退職いたしました。そして同時に法人理事長の職を解いていただきました。4月からワタシ、保育士の「圭子さん」になります。ぜひお気軽に「圭子さん」と呼んでください。しかし、足もふらつきますし、しっかり年を取りましたので大切なお子さんたちの直接的なお世話は自重しなくてはなりません。でもワタシには、両親からもらった人並み以上のマメさと器用さと手早さがあります。また、世の中にまだ出回っていない物を創り出す力と、理論と実践を融合する力をいつの間にか身につけました。子どもと保育者そして保護者がHappyな生活を創り出すための、人・物・場の環境構成の職人? とでも言うか、保育士の専門性を生かした環境ソムリエかな? それとも、生きる力につながる子どもの遊び・活動・教育の環境仕掛け人かな? 肩書はさておき、そんな仕事ぶりをイメージしています。さあ、始めます。始めます。今まで以上に、これからもアツい保育者です。

保育士の「圭子さん」こと 迫田 圭子

ボク、理事長になります

育てる、をやめます。
もちろん、これまで通り私たちは子どもたちと向き合い、笑い合い、涙し、抱きしめ、叱り、受け止めます。そんな毎日の中で、私たちは子どもたちを「育てている」ときっと言っていただけでしょう。でもやはり私たちは、自らが成長する力を持った子どもたちの育ちの伴走者でありたい。そして子どもたちを育てている保護者の皆さんに常に主役であってほしい。だから育てると言いません。

そして、こんな私に人生の一部を貸していただいているスタッフの皆さんにHappyが訪れることを願ひ、皆さんの将来に向けた成長も援助してゆきます。

かたや自宅に帰れば、いままで通り我が子を育てる一人の父親の端くれとして妻と手を携えて小さな家族のHappyを探し続けます。

子どもたちを育てている、と言うと少し照れくさい。でも、子どもたち・スタッフたち・応援して下さる皆様・家族、その未来を創り出している、と誇りを持って言いたい。そんな少しひびく私がいちばん成長しながら法人の未来を指し示してゆきます。

だから、私のライフワークは「未来を育てる」
これでいきます。

理事長 迫田 健太郎